

Emmy II

起動方法

まず、MSX2のシステムをチェックしてください。ディスクドライブが内蔵されているMSX2の場合には、スロットからすべてのカートリッジを抜いてください。外部ディスクドライブを使用する場合には、まず、MSX2のスロットからすべてのカートリッジを抜いたのちに、ディスクドライブのインターフェイスを差して、ディスクドライブの電源を入れておいてください。また、プリンタがある場合には、エミーとの会話の内容をプリンタに出力することができますので、MSX2に接続して、電源を入れておいてください。

次に“EMMY II”のディスクをディスクドライブに入れてから、MSX2本体の電源を入れてください。自動的にゲームが始まります。なお、このときエミーがしゃべりますので、音量はあまり大きくしておかないでください。

ゲーム方法

- ①まず、あなたの名前を聞いてきます。エミーに、自分を何と呼んでもらいたいかを、8文字以内で入力してください。なお、名前が入力できるのは、このときだけです。充分に確認して入力してください。
なお、入力の最後に、☒キーを押すのを忘れなく。
- ②次に、会話の内容をプリンタに出すかどうかを聞いてきますから、出したいときには \square Yキーを、出さないときやプリンタが接続されていない場合には、 \square Nキーを押してください。
- ③会話は、すべてひらがなによる日本語で行います。入力する文には、適当な空白(スペース)を入れて、単語を区切ってください。なお、文頭には空白は入りません。直接キーボードからひらがなで入力する場合には、 \square カナキーを

押してください。

カタカナ入力が不得意な方には、ローマ字入力をお勧めします。この場合には、**[SHIFT]**キーを押しながら、**[カナ]**キーを押してください。そして、表1に従ったローマ字を入力してください。入力されたローマ字は、即座にひらがなに変換されます。

文字の入れ間違いは、**[BS]**キーを押して入力しなおしてください。文を打ち込んだら、よく確認してから**[✓]**キーを押してください。エミーは入力された文を読み、答えを返してきます。

また、英文字を入力したい場合には**[カナ]**キーを押してください。

- ④なお、“EMMYII”は、学習型プログラムですので、覚えた言葉をディスクに登録していきます。そのため、ディスクをライトプロテクト(書き込み禁止)状態にしておくと、正常に動作しませんので注意してください。

エミーという女の子

- ①“EMMYII”は、エミーというかわいい女の子と会話を楽しむプログラムです。エミー自身には、約800語程度の言葉を教えてあります。エミーの最初の性格は、この800語によって決められています。この後、エミーの性格をいかに自分好みにするかは、あなたの腕次第なのです。また、エミーに何かを教えようという気持ちで話を進めても面白くはありません。自分と対等の女の子とデートをするつもりで、会話を楽しんでください。
- ②イラストは全部で11枚で構成されています。イラストはあなたとエミーの会話の発展度合で変わっていきます。二人の会話がはずんでいくと、エミーはあなたに対して親密な態度をとるようになっていきます。
- ③なお、エミーはいつでもあなたの言う通りになるとは限りません。たまには、すねたりすることもあります。エミーが機嫌をそこねたり、あなたとの会話がうまくいかないときには、“ばいばい”と言って、手を振って去っていきます。これで、エミーとのおしゃべりタイムは終わったことになります。
- ④また、あなたが「じゃ、今日はこの辺で」と思ったときは、あなたから「ばいばい」と言うことでゲーム終了となります。
- ⑤なお、ゲームが終了したとき、それまでの会話で得られたデータをディスクにセーブします。しばらく時間がかかりますので、セーブが終わるまでディスクをそのままにしてお待ちください。

エミーとの会話

- ①エミーとうまく会話するにはどうしたら良いのでしょうか、まず大切なことは、プログラムを起動した直後にも表示されるように、こちらの話を入力するときは単語と単語の間に空白を入れることです。
- ②しばらく話しているうちに、エミーに嫌われ、ばいばいされてしまうことも起きるでしょう、では、どうすればエミーに嫌われずに済むのでしょうか、それにはまず、話題を豊富にすることが肝心です、いつまでたっても、ひとつのことしか話せないようでは、すぐにエミーに飽きられてしまいます。
- ③では、このような会話をエミーはいったいどのようにして実現しているのでしょうか、エミーは、まず自分の言った言葉を分解し、認識します、次に、それに対するあなたの返事を覚えます、そして、その返事を分解し、何を言っているのかを考え、エミーの持っている800語の会話辞書と、あなたがこれまでに入力した会話の中から、対応するパターンがあるかどうかを探します、あった場合、そのときあなたがどう対応したのかを調べ、その対応通りに会話を進めます、無い場合には聞き返してきます。
- ④以上のことから、エミーの性格は次第にあなたに近づいていきます、エミーに対する返答に気を使えば、エミーもあなたに対する返答に気を使ってくれるでしょう、乱暴に返答すると、エミーからの返答も乱暴になるというわけです、また、話題が豊富でないと、エミーも話題の乏しい女の子になってしまいます。
- ⑤前述したとおりエミーとは、言葉を教えて教育していくのではなく、会話を楽しむものです、また、人間同様、古い記憶は忘れてしまいます、そして、その空いた部分に、次々とあなたとの対応パターンを覚えていきますので、日々、エミーは変化します、しかも、あなたに合わせてよう、合わせてようとは変化するのです。
- ⑥エミーは、あなたの話の進め方とあなたの反応に沿って、次に何を答えるかを考えていきます、ですから、あなたの応答ひとつでエミーはどんな女の子にもなってしまうわけです。
- ⑦どうすれば、エミーと楽しく付き合えるかといいますと、とにかく、いろいろな話をたくさん試みることです。

〔表1〕ローマ字かな変換規則

	A	I	U	E	O	YA	YI	YU	YE	YO	N
	あ	い	う	え	お						
K	か	き	く	け	こ	きや	さい	きゅ	きえ	きよ	
G	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎや	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ	
S	さ	し	す	せ	そ	しや	しい	しゅ	しえ	しよ	
Z	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じや	じい	じゅ	じえ	じよ	
J	じゃ	じ	じゅ	じえ	じよ	じや	じい	じゅ	じえ	じよ	
T	た	ち	つ	て	と	ちや	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ	
C						ちや	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ	
D	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢや	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ	
N	な	に	ぬ	ね	の	にや	にい	にゅ	にえ	によ	ん
H	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひや	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ	
B	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びや	びい	びゅ	びえ	びよ	
P	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴや	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ	
F	ふあ	ふい	ふ	ふえ	ふお	ふや	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ	
M	ま	み	む	め	も	みや	みい	みゅ	みえ	みよ	
Y	や	い	ゆ	いえ	よ						
R	ら	り	る	れ	ろ	りや	りい	りゅ	りえ	りよ	
W	わ	うい	う	うえ	を						

	IIA	III	IIU	II E	II O
S	しゃ	し	しゅ	しえ	しよ
T	てや	てい	てゅ	てえ	てよ
C	ちや	ち	ちゅ	ちえ	ちよ
D	でや	でい	でゅ	でえ	でよ

(注1) 子音を続けて入力すると、「っ」に変換されます。

(例) TTAと押すと「った」になり、TTNAと押すと「っな」になります。

(注2) 「ん」は“NN”です。

EMMY II エミーII

1985年12月18日 第1版第1刷発行

定価 7,800円

director 丸岡あきら stylist 河内 紀子

photo 鈴木 真貴 model 池内 利栄

design 橋村 美香

発行 株式会社アスキー

〒107 東京都港区南青山5-11-5住友南青山ビル

03-426-7111 (代表)

03-498-0299 (営業用)

営業時間は、11～15時、10時～12時、13～17時にお断りします。

©1984/1985 KOGADO STUDIO

©1984/1985 ASCII Corporation. Printed in Japan

編集 ホームソフトウェアプロダクション (HSP)

ISBN4-87148-878-0 C3055 ¥7800E